



第1回 徳島外来種シンポジウム

「生物多様性と外来種」

日時：平成23年12月3日（土） 13:30～16:30

場所：徳島大学工業会館（工学部内、駐車場有り）
徳島市南常三島町2-1

主催・共催：徳島大学環境防災研究センター，徳島県自然環境課
後援：生物多様性とくしま会議，徳島県立博物館，NPO法人徳島保全生物学研究会



葉に群がる
アルゼンチンアリ

外来種は在来生物への影響や生物多様性の劣化を引き起こすだけでなく、人間社会に及ぼす影響も大きい。そのため、外来種に対する情報を社会全体で共有することは、地域の生物多様性を考えるうえで不可欠なことといえます。本シンポジウムでは下記内容で講演を行い、徳島における外来種の現状を知り、その脅威について理解を深めていただくことを目的とします。

プログラム

受付 12:30～（展示物をご覧ください） ＊参加費無料

第一部 13:30～14:30

趣旨説明 河口洋一（徳島大学環境防災研究センター・准教授）

講演 「徳島県における外来種の現状」 片山博之（徳島県自然環境課）

休憩 14:30-14:45（展示物をご覧ください）

第二部 14:45～16:30

講演 「アルゼンチンアリの脅威」 伊藤文紀（香川大学農学部・教授）

総合討論（司会：河口、外来種に関する質問タイムもあります）

パネリスト：片山、伊藤、佐藤陽一・山田量崇・小川 誠（徳島県立博物館）

当日はアルゼンチンアリの模型や標本、日本と世界各地のアリの標本、日本産アリの飼育コロニーを展示します。



問合せ：河口洋一
徳島大学環境防災研究センター
自然環境科学部門・准教授
E-mail:kawaguchi@ce.tokushima-u.ac.jp